



平成2年に建設された「石鳥谷斎場」



櫻井 肇 議員  
(無党派)

**Q** 旧3町の斎場を廃止する旨の方針が示される一方、「集中改革プラン」では指定管理者制度を導

入するとしている。市の方針はどちらなのか伺う。  
**A(市長)** 本年5月に「市営火葬場のありかた検討委員会」を設置した。今後、検討を進め方向性を打ち出していく。また、市の行政改革大綱においては、可能な限り民間の

**石鳥谷の墓園開発**  
**Q** 石鳥谷町上口地区の墓園開発の概要と、この計画に対する市の考えを

伺う。  
また、周辺住民の意見を聴取する必要があると考えられるか。  
**A(生活環境部長)** 土地所有者から相談があったが、正式な申請がなかったため、具体的内容は不明である。申請があった場合は、「墓地、埋葬等に関する法律」および、国が示している「墓地経営・管理の指針」などを踏まえ適否を判断し、住民の同意を得るための説明会等の開催を指導していく。

## 旧3町の斎場運営方針は 検討委員会において方向性を

## 花巻城周辺の景観保全を 住民と協働で保全に取り組む



本館 憲一 議員  
(花巻クラブ)

**Q** 城下町花巻らしい眺望や町並みを守るため、景観計画によって花巻城周辺を先行的に、例えば

景観形成特別地区に指定すべきと考えるが、市の景観保全についての見解を伺う。  
**A(建設部長)** 花巻城跡の景観保全については、本丸跡の斜面緑地と一体となった良好な自然景観とともに、石垣や再建された西御門、三の丸公園

**コンパニの市税納付**  
**Q** 市民税を平成20年度に、国保税を平成21年度

に、コンビニでも納付できる計画について、その狙いを伺う。  
また、コンビニがない地域で格差を感じると思われるが、郵便局での納付について併せて伺う。  
**A(財務部長)** コンビニでの収納については、時間の制約や多様化するライフスタイルに対応するために環境整備しているものである。また、郵便局での納付については、納税環境を広くする観点から検討していく。



本年4月、佐藤昌介生誕150年記念事業として、三の丸公園に石碑が建立されました



活躍が期待される「ステラミーゴいわて花巻」



名須川 晋 議員  
(花巻クラブ)

**Q** 日本初のフットサルリーグに北海道・東北地区から唯一参加する「ステラミーゴいわて花巻」

のプレマツチまで間もなくである。チームスタッフは大変奮闘しているが、練習会場の確保、選手たちの勤務先の決定、スポンサー獲得など課題は実数多い。このために一刻も早い後援組織立ち上げを図り、広範なサポート体制を整えなければ

ならないと考えるが、現状をどう把握しているか伺う。また、市民の関心を高める施策についての見解を併せて伺う。  
**A(市長)** これまで対応窓口は、教育委員会の体育振興課であったが、体育施設の支援のみならず、経済界など広範囲に

関わることを考えられるため、対応窓口をプロジェクト推進室に移した。今後は、部局横断的な庁内組織を立ち上げ、多方面の支援ができる体制を整え支援していく。また、市広報に特集記事等を掲載するとともに、市庁舎、総合体育館、それ以外の施設にも横断幕等を掲出し、市民の方々がサポートとして気軽にチームの応援ができるように努めていく。

## ステラミーゴいわて花巻の支援 部局横断的な組織を立ち上げる

## 「菊池捍邸」の保存整備を 市民の理解協力が不可欠である



永井 千一 議員  
(花巻クラブ)

**Q** 御田屋町にある「菊池捍邸」は、大正14年に建てられ、外観は洋館、内部が畳敷き和室の洋風

建築の建物で、賢治の作品「黒ぶだう」の舞台のモデルと考えられている。これらのことから、この建物は、歴史的、文化的に重要な建築物と考えられ、保存整備すべきと思うがいかがか。  
**A(教育長)** 菊池捍邸は、貴重な歴史的建造物であ

るが、市内には、歴史的建造物が数多くあることから総合的に考えていく必要がある。保存活用方法や維持管理などが課題となる上、多額の経費を要することから、慎重な判断が必要であり、今後、市民の理解協力が不可欠となると考えている。

**山車収蔵庫の移転**  
**Q** 花巻まつり屋形山車収蔵庫の移転について、観光客誘致のためにも、常時気軽に山車を見られるような場所に移転すべきと思うがいかがか。  
**A(産業部長)** 屋形山車は、街中に観光客呼び込める新たな魅力と成り得る、移転先の立地場所、常時見学の管理体制、山車の劣化の問題等もあることから充分協議して進めていく。



保存整備が検討課題となっている「菊池捍邸」